

「反対」・「賛成」僅差で可決 国保増税と国保会計の補正予算

6月の定例議会で、国民健康保険の税率（国保税）を引き上げる条例と、それに伴う国民健康保険特別会計（国保会計）の補正予算を審議しました。議会は、反対・賛成の立場で意見（討論）が分かれましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

なお、市長および副市長の給料を減額する条例と補正予算は全会一致で可決しました。

令和5年度 基金が枯渇

国保会計の財政調整基金（基金）は、平成29年度末に12億円ほどありました。

平成30年度に、国保会計の運営が県一本化で行うことになったので、市は税率を改正し、1人あたり16・32%を減、1世帯あたり17・08%を減と引き下げを

行い、令和4年度まで税率を維持し、毎年約2億円の基金を取り崩しながら、被保険者の負担を軽くするよう努めてきました。

その結果、基金の残高は減少し、令和5年度末で基金が枯渇する状況になってきました。

「15・42%」税率の 引き上げを改正

市は、令和5年度、県への事業費納付金の動向や市民の負担を考えた税率の改正を必要とし、1人あたりおよび1世帯あたりともに15・42%の税率の引き上げを改正する条例を提出しま

した。

議会は、反対、賛成の立場で意見を述べた結果、反対10、賛成12の賛成多数で可決しました。

また、国保税の税率改正に伴う、国保会計の補正予算は、反対9、賛成13の賛成多数で可決しました。

討論

栗原市国民健康保険税率の一部を改正する条例

反対 菅原 勇喜 議員

改正案は現行税率試算額に比し、1世帯あたり15・42%増の14万6152円へ引き上げ、さらに、2年後には現行試算額に比し、30・3%増税とのことである。税収不足2億3882万円は令和4年度末国保財調基金残高5億721万円からの拠出を求める。

賛成 高橋 将 議員

現在の税率では将来的に財政調整基金が不足する。今ある財政調整基金の活用を行い、大幅な税率引き上

げを防ぎつつ、国民健康保険制度を維持するための段階的な税率改正となる。市民の負担を最小限に抑えながら、制度の持続を図るための改正に賛成する。

令和5年度栗原市国民健康保険特別会計補正予算

反対 佐藤 文男 議員

本予算は国保税率15・42%の引き上げの条例改正に基づくものである。国保加入者の収入減、所得減による税収不足を、収入減となった加入者に増税を行うことは言語道断である。税収不足分は財政調整基金から繰り入れをし、増税を行わないことを求める。

賛成 菅原 麻紀 議員

国民の三大義務である納税の中に国保税がある。健康保険事業は県が主体となり市町村は負担金を必ず納めなければならない。

これから足りない状況がいつまで続くか不安定な社会情勢の中、段階的に税率を上げることが否めないと感じる。

「賛成」・「反対」の一覧表

議決結果	採 決 結 果																							
	鹿野 芳幸	佐藤 久義	佐々木嘉郎	佐藤 勇	三塚 東	高橋 義雄	小野 久一	菊地 広志	高橋 勝男	相馬 勝義	阿部 貞光	高橋 将	佐藤 悟	佐藤 文男	佐藤 千昭	石川 正運	五十嵐 勇	菅原 麻紀	三浦 善浩	尾形 勝通	菅原 勇喜	濁沼 一孝	高橋 涉	
国民健康保険税条例	賛	賛	賛	反	賛	賛	反	反	賛	反	賛	賛	賛	反	反	賛	反	賛	賛	反	反	反	反	-
国民健康保険特別会計	賛	賛	賛	反	賛	賛	反	反	賛	反	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	-

※「賛」⇒賛成した議員、「反」⇒反対した議員、「-」⇒議長のため表決に加わらない



地域医療の拠点「若柳病院」

市長 20%
副市長 10%

給料を減額

市長および副市長の月額給料を減額しました。

【理由】元市職員は、市が発注し



た測量設計業務において、令和5年2月14日に収賄の容疑で逮捕されました。

5月26日に刑が確定したことから、市長および副市長は、監督責任を取るとして市長は月額給料の20%を副市長は月額給料の10%をそれぞれ減額しました。

なお、月額給料の減額期間は、市長および副市長とも令和5年7月1日から7月31日までの1か月間です。

補正予算 主な事業

期日前投票所の移設

278万円

令和5年10月22日執行の宮城県議会議員選挙において、期日前投票所が志波姫総合支所からくりこま高原駅前的大型スーパー店に移設します。



スクールバス安全装置(ブザー)を設置

1205万円

若柳認定こども園や、幼稚園バス、小学校のスクールバス合計54台に子ども達が車内に取り残されないよう安全装置を設置します。



小児科医院の開設に助成

6200万円

7月1日から開業する小児科医院に対しての改築費用を助成します。



(仮称)栗原東大橋の橋台請負契約 低入札価格調査を実施



栗原東大橋の完成予想図

(仮称)栗原東大橋の橋台請負契約は、市が定める調査基準価格を下回り、失格基準価格以上の最低入札

価格でした。市は、低入札価格調査の結果を特別業者選定委員会で審議したところ、最低落札業者を落札者となりました。議会は、全員が賛成して可決しました。

(仮称)栗原東大橋 A2橋台工事
方法 一般競争入札
金額 3億3517万円
相手方 大目建設株式会社 (栗原市)

臨時議会 5月12日

令和5年5月12日の臨時議会では、議長・副議長の選任などを行いました。(2ページ・3ページを参照)。
また、電力・ガス・食料品などの価格高騰により影響を受けた低所得世帯の負担を軽減する支援策などを盛り込んだ一般会計補正予算を原案のとおり可決しました。

住民税非課税世帯支援 1世帯3万円

電力・ガス・食料品などの価格高騰により影響を受けた、低所得世帯に対して、負担を軽減するため、1世帯あたり3万円を支援します。事業の総額は2億2031万円です。

子育て(ひとり親)世帯 児童1人5万円

電力・ガス・食料品などの価格高騰により影響を受けた、低所得の子育て世帯(ひとり親世帯)に対して、負担を軽減するため、児童1人あたり5万円を支援します。事業費の総額は4228万円です。

酪農経営継続支援 乳用牛1頭1万円

飼料価格が急激に上昇する中、国の支援などによっても十分支援が行き届いていない酪農経営者に対して、乳用牛(成牛)1頭あたり1万円を支援します。事業費総額は998万円です。※申請は6月30日まで締め切りました。

子育て(その他)世帯 児童1人5万円

電力・ガス・食料品などの価格高騰により影響を受けた、低所得の子育て世帯(その他世帯)に対して、負担を軽減するため、児童1人あたり5万円を支援します。事業費の総額は2648万円です。

学校給食の配送 花山地区へ早く



文教民生常任委員会

4月18日



移管先の南部学校給食センター

廃止される一迫学校給食センターの移管業務を調査しました。

調査の結果

令和5年度をもって一迫学校給食センターは廃止となり、給食業務は、南部学校給食センターへ移管され給食提供業務の効率化と経費削減が図られます。

移管後の配送案では、花山地区への配送が一迫幼稚園を経由するため、南部学校給食センターを出発してから、到着するまで1時間を要する見込みとなっています。「学校給食衛生管理

基準」の規定時間内の配送ですが、少しでも配送時間が短縮できるようにする必要があります。

このほか、センター内の冷房は完備されているものの、空調設備の強化や、地震で被害を受けた壁の破損箇所を早急に修繕すべきです。

小田ダムパークゴルフ場 トイレ併設の東屋望む

小田ダム湖畔パークゴルフ場のイノシシ防護柵と東屋の設置状況を調査しました。

調査の結果

令和4年4月19日から令和5年3月31日までの間、施設を閉鎖し、イノシシ防護柵および東屋（1棟）の設置、芝の補修を行い、令和5年4月1日から新たな指定管理者のもとにリニューアルオープンしました。

東屋については、休憩所としての機能だけではなく、天候急変時の避難場所として活用が見込まれます。利用客の利便性向上と安全確保の観点から、トイレを併設する東屋をさらに追加設置するべきです。

農業委員の任命に同意

農業委員会委員の任期が令和5年7月23日に満了します。議会は24人の同意を求められ、全員賛成で同意しました。任期は3年です。

(敬称略)

大沢 純香 (栗駒)	菅原 勝宏 (栗駒)	高橋 寛 (栗駒)	吉田 優俊 (栗駒)	佐々木 耕太郎 (高清水)	高橋 文彦 (一迫)	三浦 栄 (一迫)
三浦 正勝 (二迫)	米山 嘉彦 (瀬峰)	山田 善太郎 (鶯沢)	佐藤 勝 (金成)	高橋 榮一 (金成)	千田 公之 (金成)	尾形 陽一郎 (志波姫)
菅原 昌行 (志波姫)	三浦 俊輔 (花山)	菅原 昌行 (志波姫)	尾形 陽一郎 (志波姫)	高橋 昌行 (志波姫)	菅原 昌行 (志波姫)	三浦 俊輔 (花山)

委員は次のとおりです。

氏家 優一 (築館)	曾根 金雄 (築館)	曾根 香代 (築館)	佐々木 進 (若柳)	鈴木 和子 (若柳)	鈴木 伸 (若柳)	岩淵 弘 (栗駒)
------------	------------	------------	------------	------------	-----------	-----------

人事

○固定資産評価員の選任に同意

総務部 税務課長 高橋 治

○監査委員の選任に同意

議会選出 鹿野 芳幸

○後期高齢者医療広域連合議会議員に就任

議会選出 佐藤 文男

表彰

第99回全国市議会議長会の定期総会において、長年にわたる市政の振興に努めた功績により表彰されました。

議員 30年以上



佐藤 勇 議員

議員 25年以上



三塚 東 議員

議員 20年以上



佐藤 文男 議員

議員 20年以上



濁沼 一孝 議員

議員 20年以上



五十嵐 勇 議員